

## 広報・教育部門

応募事例名

# 水じゅんかんフェア ～守ろう!さがん水～

応募団体名)佐賀県

### 応募事例の概要

佐賀県では、豊かな川や海を未来へ引き継いでいくために、下水道や浄化槽の役割を理解してもらうことを目的に、昨年度初めて、水じゅんかんフェアを開催しました。水じゅんかんフェアは、3回に分けて開催し、第1弾は、「水の天使」の浦底里沙さんによる「しあわせを運ぶ水」をテーマとした講演や佐賀市下水道部長による「ビストロ下水道」についての講演を行いました。第2弾、第3弾は、下水道の日、浄化槽の日に合わせて、昨年度本県主催で行った「肥前さが幕末維新博覧会」会場にブースを設けて、各種イベントを行いました。また、この水じゅんかんフェアは、佐賀県で取り組んでいる森川海人プロジェクト(「森・川・海はひとつ」として豊かな自然環境を未来につなげる活動)に位置付けて実施しました。

第1弾 H30.8.22



第2弾 下水道の日  
H30.9.8～9.10



第3弾 浄化槽の日  
H30.9.29～10.1



### PRポイント

佐賀県では県営の下水道事業を行っておらず、担当する職員数も少ないことから、イベント開催時の人員不足が課題でした。このため、県内市町の下水道職員や大学生などに協力していただき、イベントを開催することを考えました。

イベントでは、佐賀市の「じゅんかん育ち」の野菜などの販売や下水汚泥由来の肥料の配布を行い、多くの来場者にご好評を頂きました。また、県内市町のデザインマンホールの展示やマンホールカードの配布を行い、下水道のPRに繋がりました。さらに、佐賀大学の学生による下水処理場の模型の展示や水質試験の実演を行い、下水道の仕組みを分かりやすく伝えることができました。このように県内市町の下水道職員や大学生が一体となって取り組むことで、円滑な運営と下水道に対する意識向上に繋げることができました。